

長野県人権尊重社会づくり県民支援事業 補助金交付事業

「当事者（補助犬ユーザー）の結集力」で、補助犬を取り囲む環境を改善する

2015 「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本

ご後援：内閣府、厚生労働省、法務省、環境省、長野県、松本市 他



主催：長野県ハーネスの会 & 全日本聴導犬ユーザーの会

共催：(福) 中部盲導犬協会 (福) 日本聴導犬協会

運営および実行委員：岸本宗也、丸山訓代、MAYUMI、奥嶋千夏、チーム前野、松本市中央公民館

企画：日本補助犬研究所

事務局および問合せ：(福) 日本聴導犬協会：〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 7030-1

Tel:0265-85-4615&5290 Fax:0265-85-5088 <http://hearingdog.or.jp> E-mail:inf@hearingdog.or.jp

総合プロデューサー：前野弘美 & 有馬もと

「当事者（補助犬ユーザー）の結集力」で、補助犬を取り囲む環境を改善する

2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本

◆日時：2015年6月20日(土) 2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本（松本市Mウイング）
6月21日(日) ほじょ犬&ほじょ犬応援犬パレード（松本市中心地）

◆対象者と地域：全国の補助犬ユーザー、補助犬育成団体、一般参加者

◆概要：身体障害者補助犬とは、身体（視覚、聴覚、肢体）障がいのある方の補助をする盲導犬・聴導犬・介助犬の3種類の補助犬を示します。2020年にオリンピック&パラリンピックを東京で迎え、海外からの身体障害者補助犬ユーザーも多数来日されます。開催国である日本の「おもてなし」としても、補助犬が理由となる「障がいへのバリア」や「人権侵害」を撤廃しなくてはなりません。

2002年10月から身体障害者補助犬法が施行され、補助犬ユーザーの権利は拡大されましたが、同伴拒否や補助犬に関する情報不足など多くの問題が山積しています。

身体障害者補助犬を取り囲む環境改善のために、社会からの補助犬ユーザーと補助犬へのさらなる理解を得なくてはなりません。「長野県ハーネスの会」と「全日本聴導犬ユーザーの会」の主催により、当事者である補助犬ユーザーが抱える問題を、ユーザー自身の力で解決するために、身体障害者補助犬ユーザーが補助犬育成団体との協働により、社会からの温かな理解を得るために、率直な意見交換の場を設ける必要があると考えました。2015年6月20日 2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本と、翌21日に「ほじょ犬&ほじょ犬応援犬パレード」（松本市中心部）を実施します。

総合プロデューサーの前野弘美（長野県ハーネスの会 会長）と有馬もと（日本聴導犬協会 会長）によって全国の補助犬ユーザー、補助犬に関心のある一般社会の方々、そして補助犬育成団体に呼びかけて開催されます。

2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本は、補助犬ユーザーが何を求め、そのために育成団体がどう活動し、社会からの理解と協力を得ていくのかを、3方向から考え、改善策を探る会議です。

当サミット開催を元に、できれば、2016年からの各地での補助犬ユーザーによる「全国身体障害者ほじょ犬サミット」のひとつの手引きとなるように、当サミットでの実施記録は今後のほじょ犬サミットを各地で継続するために参考にさせていただきたいと願っております。

心から感謝申し上げます（順不同、敬称略でご掲載させていただきます）

<ご寄附をいただきましたみなさま>

丸山治療院（丸山訓代、丸山良三）、ペット霊園 愛の森、梅本恵子、三林千巻、林昌寺、障害児・者の願いを実現する会、小石直子、百瀬みどり、新倉邦子・新倉浩一、村澤久実子、松本ガス株式会社、コダマ楽器、真田一子、伊藤動物病院、小木曾 義典、(福)日本聴導犬協会、長野県ハーネスの会、全日本聴導犬ユーザーの会、前野弘美、MAYUMI、有馬もと

<ボランティアのみなさま>

P-LoCo、エクセラン高校の生徒、松本大学&未来学舎「松本医療福祉専門学校」&大阪 ECO 動物海洋専門学校の学生のみなさま、ぷりてい わんこくらぶ、日本 GE バリアフリーネットワーク、吉川徹子、Pro-Dog School、日本聴導犬・介助犬訓練士学院

ご 後 援

内閣府、厚生労働省、法務省、環境省、長野県、松本市、長野県教育委員会、松本市教育委員会
 自由民主党長野県支部連合会、民主党長野県総支部連合会、公明党長野県本部、松本商工会議所、松本観光
 コンベンション協会、長野県動物愛護会、ライオンズクラブ国際協会 334-E 地区、(財)全日本ろうあ連盟
 (福)長野県聴覚障害者協会、松本市聴覚障害者協会、松本市身体障害者福祉協会、松本視覚障害者福祉協会全
 日本盲導犬使用者の会、(公財)北海道盲導犬協会、(公財)東日本盲導犬協会、(公財)関西盲導犬協会
 (福)日本ライトハウス、(福)兵庫盲導犬協会、(公財)九州盲導犬協会、(公財)日本補助犬協会
 (財)全国盲導犬協会、ADJ (アシスタンスドッグジャパン)、(特)聴導犬育成の会、(特)ボランティアドッグ育成
 センター、(特)京都ケアドッグステーション、(特)九州補助犬協会、(特)兵庫介助犬協会

2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」in 松本 プログラム

	日時	事項
1	6月20日 10:30～11:00	開会式：ご挨拶および御来賓の紹介（総合司会：有馬もと／主催者挨拶：岸本宗也） 宮下 一郎 様（自由民主党衆議院議員 財務副大臣） 工藤 彰三 様（自由民主党衆議院議員） 阿部守一長野県知事 ご名代(長野県健康福祉部障がい者支援課在宅支援係課長 岸田守 様) 菅谷 昭 松本市長 ご名代(松本市健康福祉部長 丸山 貴史 様) 小田切康彦 様（宮田村村長） 太田 昌孝 様（公明党長野県本部代表 長野県議会議員） 下条 みつ 様（民主党長野県総支部連合会副代表 元衆議院議員） 藤野 真紀子様（元衆議院議員）
2	11:00～12:15	3分科会(補助犬ユーザー、一般、育成団体)課題「補助犬が抱える問題と改善案」 分科会1：補助犬ユーザー同士による討論会 ※分科会を2つ(盲導犬、聴導犬と介助犬ユーザー)に分割し、各々意見をまとめる 分科会2：補助犬育成団体同士の討論会 分科会3：一般参加者による討論会 分科会後、総会のためにパワーポイントと発表文に整理し、総会で発表する
3	12:15～13:00	昼食（おやき予約販売）。ほじょ犬支援アイドルP-LoCoのステージ
4	13:00～14:30	講演会：菅野 晶子獣医師『どこにでも行けるほじょ犬だからこそ健康管理とケア』 同伴権利を得るからこそ、補助犬なりの健康管理について
5	14:45～16:30	全体会議：各分科会での意見の総括
6	16:30～17:00	情報シェア（道具や訓練方法など知識交換）
7	17:00～17:30	閉会の挨拶（小林 美智子 様（元伊那保健所長）&前野弘美）
8	18:00～	移動：ホテル翔峰
9	19:00～	親睦会（夕食のみ飲酒はしません）
10	6月21日 10:30～11:30	補助犬PR 松本市内補助犬パレード（参加者には、当日の犬用おみやげ有） 9時半～10時までに集合 Mウイングの手まり時計の前
11	12:00～	昼食（そば小林）後 自由解散
		駅までのガイドが必要な方は、お申し出ください。お気をつけて御帰りください

祝 辞



補助犬への理解の輪の大きな広がりを期待

長野県知事 阿部 守一

2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」in松本が、ここ信州の地において盛大に開催されますことをお慶び申し上げるとともに、全国各地からお集まりいただきました皆様方を心から歓迎申し上げます。また、本日御参集の皆様方におかれましては、日頃から障がい者福祉の推進に御尽力いただいておりますことに対しまして、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、本県では、長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」に基づき、「信州あいサポート運動」など障がいを理解し、障がいのある方々を応援する社会づくりや、障がいのある方々が地域で自立して生活するための支援を推進しております。

中でも、身体障がい者補助犬を使用される方々への支援としましては、補助犬に係る相談窓口の設置や身体障がい者補助犬給付事業、補助犬パンフレットの配布やラジオ番組等を活用した広報・啓発活動等を実施してまいりました。

今回のサミットでは、補助犬の環境改善に向けた意見交換が行われるほか、より多くの方々の関心が高まるよう街中での補助犬パレードも行われると聞いております。このサミットが実り多きものとなり、補助犬への理解の輪が大きく広がっていくことを願っております。

信州は、爽やかな山岳高原など優れた自然環境や全国有数の温泉など全国に誇れる魅力が豊富にあります。この機会に是非信州の魅力をご堪能いただければ幸いです。

結びに、大会の開催にご尽力いただきました関係各位に心からの敬意を表しますとともに、本大会のご成功とご参加の皆様のみずみずの御活躍と御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

<盲導犬が活躍しやすい環境を目指して>

長野県ハーネスの会は、盲導犬に関しての啓発の活動。

盲導犬および引退犬の医療費補助と予防支援の活動をしています

長野県ハーネスの会

人が動物と一緒に暮らす事を含め生活の中に補助犬が入る事で生活の質が高まります

補助犬を使う本人も周囲の人たちも感じて居るはずです。

そんな補助犬を広く知って頂く事、病気によっては高額になる補助犬の医療費への補助

一緒に活動して下さいませんか

長野県ハーネスの会 会長 前野弘美

長野県松本市桐 2-4-44-1 <http://www.harness-nagano.com/>

携帯 080-1043-7315 (でないときは留守電に残して下さい)

歓迎のごあいさつ

サミット開催は、補助犬への理解と協力の輪を拡げる 意義ある取り組み



平成27年6月20日
松本市長 菅谷 昭

本日、2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」in松本が、「山高く、水清くして、風光る」と謳われる当地松本市で開催されますことをご喜び申し上げますとともに、全国各地からお越しの皆様を心から歓迎いたします。

サミットの成功に向けて準備を進められた主催の長野県ハーネスの会、全日本聴導犬ユーザーの会、共催の社会福祉法人日本聴導犬協会、社会福祉法人中部盲導犬協会並びに運営および実行委員会とボランティアの皆様に、心から敬意を表します。

私は昨年10月、長野県ハーネスの会と盲導犬育成団体の皆様が市役所に訪問された際に、盲導犬のカンナと一緒に歩く体験をさせていただきました。最初は恐怖感がありましたが、ほじょ犬のカンナのおかげで安心できました。身体障害者補助犬が、ユーザーの方にとって日々の生活で助かる存在であるとともに、かけがえのないパートナーであることがよくわかりました。

身体障害者補助犬法が平成15年に施行されて12年が経ちましたが、本市では現在、盲導犬6頭、介助犬1頭合わせて7頭のほじょ犬が、使用される方の適正な管理のもと、深い信頼関係で結ばれた素晴らしいパートナーとして、多くの皆さんの理解と協力のなか活躍されています。

サミットの開催は、盲導犬・介助犬・聴導犬とパートナーがよりよく住める街づくり、ほじょ犬に対する理解と協力の輪をさらに社会に拡げるために、たいへん意義のある取り組みと感じております。これは、本市が目指す、だれもが健康でいきいきと暮らすまち「健康寿命延伸都市・松本」の創造にもつながるものと大いに期待をさせていただいており、重ねて感謝申し上げます。

結びに、2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」in松本の成功と関係団体のご発展、サミットに参加される皆様のご多幸を祈念し、歓迎とお祝いの言葉といたします。

当事者（聴導犬ユーザー）が当事者（聴覚障がい者）の聴導犬ニーズを実現する
聴導犬普及のための「相談、助言、ロビーイング」を行います

2002年8月創立 「全日本聴導犬ユーザーの会」

たかめよう！「垣根のない、聴導犬ユーザーの結集力」

「全日本聴導犬ユーザーの会」会長 岸本宗也

事務局：村澤久実子 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村7030-1
日本聴導犬協会気付け FAX:0265-85-5088、TEL:0265-85-4615&5290

<http://www.hearingdogpartners.com/>

E-mail: iadpinashiya@hearingdog.or.jp



主催団体からのご挨拶

● 補助犬を取り巻く社会に 補助犬使用者から発信

2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本 総合プロデューサー
前野弘美（長野県ハーネスの会 会長）

2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本 が松本市で開催できますのは、多くの皆さまの支援と協力に依るものです。心より感謝とお礼を申し上げます。

身体障害者補助犬法が施行され12年が過ぎた現在ですが補助犬の存在を知らない人や正しく理解されておられない方が多く居られます。補助犬の存在を知り正しく理解して頂ける場として、補助犬の使用者が互いの知識や経験を共有する事で自らの資質の向上をはかると共に社会生活の中に有る問題・困難・良いことも含め実情を、一般の皆さんや育成施設の皆さんと共有する場を通して補助犬を知り、理解するきっかけとなる事を希望します。

異なる立場の人が考えや知識を共有することは新しい見方・考え方が生まれる可能性と、お互いの理解を深める可能性があります。補助犬を取り巻く社会への働きかけを補助犬を使う者から発信し自らもそして取り巻く人たちが共に成長する為にサミットを継続して欲しいと思います。



● 「当事者（ユーザー）力の結集」による 環境改善のために

「全日本聴導犬ユーザーの会」
きしもとかずや
会長 岸本宗也

私たち補助犬ユーザーは、さまざまな問題を抱えています。たとえば、新聞等で取上げられる同伴拒否は重要な課題です。でも、同伴拒否と同レベルで、周知の至っていない聴導犬や介助犬ユーザーは様々な問題を抱えています。

- ① 聴導犬・介助犬の情報をどこで得るのか？
- ② 行政の窓口で「相談拒否」が起こっている
- ③ 周知不足のための周囲からの誤解や差別
- ④ 生活が始まってからのアフターケアや経費
- ⑤ 育成団体ごとに聴導犬・介助犬レベルの違い

2002年8月に創立した「全日本聴導犬ユーザーの会」では、ロビーイング（陳情や表敬訪問）活動として日本聴導犬協会と共に、文部大臣や厚生労働副大臣への表敬訪問を行い、補助犬を理由とした「人権侵害」をなくすための活動を行ってまいりました。

「長野県ハーネスの会」前野弘美会長の呼びかけで、日本聴導犬協会 有馬もと会長との協働として、2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本の企画が昨年から動き出しました。「全日本聴導犬ユーザーの会」も主催団体のひとつとなりました。特に聴導犬については、理解度がまだまだ低く、知らない人が多いのが現状です。これらの問題を解決するために、2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本では、全国の補助犬ユーザー、補助犬育成団体、参加者のみなさまと一緒に考え、話合っ
ていかななくてはなりません。「当事者（ユーザー）力の結集」のための「ほじょ犬サミット」です。2020年の東京オリンピック&パラリンピックまでに補助犬ユーザーの自主選択、自己決定で補助犬を取囲む環境改善を進めていきたいと、みなさまからのご支援をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



みなさまに感謝！

「人にも動物にもやさしい日本」

2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本
総合プロデューサー 有馬もと

「補助犬ユーザーのために(自分たちで)何かしなくては」の「長野県ハーネスの会」前野弘美会長のお言葉で、ボランティアのみなさまと10カ月間にわたって2015「全国身体障害者ほじょ犬サミット」 in 松本の総合プロデュースをさせていただきました。

松本での補助犬会議は、2004年開催「国際アシスタンスドッグパートナーズ会議」 in 松本後、2度目になります。日本聴導犬協会が創設(1996年)以来、一貫して主張したのは育成団体と補助犬ユーザーとの「共感、協働、共生」の理念を元に、みなさまとサミットを構成させていただきました。2002年の身体障害者補助犬法施行後は、徐々にですが補助犬を取囲む環境は改善されつつあります。しかし、「盲導犬刺傷事件」や「室蘭での盲導犬同伴拒否」などまだまだ課題が残ります。これらの課題解決は「当事者(補助犬ユーザー)の結集力」と、育成団体との協働により、社会からのあたたかな理解を得ていくことしかない信じ、補助犬を取巻く「人権」侵害に取り組んでいくことは、ひいては「人にも動物にもやさしい日本を創る」ことにつながっていると、確信しております。

聴導犬、介助犬と暮らしてみませんか？



お問合せ



厚生労働省関東信越厚生局長所管
厚生労働大臣指定法人 社会福祉法人 日本聴導犬協会

八王子事務所：〒183-0823 東京都八王子市横川町 772-12
関西事務所：〒659-0094 兵庫県芦屋市松ノ内町 6-7
本部：〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村 7030-1
Tel:0265-85-4615&5290 Fax:0265-85-5088
HP: <http://www.hearingdog.or.jp> メール: inf@hearingdog.or.jp

